

2007年度 シラバス (授業計画)

| | | | |
|-----|----------------|-------|-------|
| 科目名 | 意味と運用 A・B E2-4 | | |
| 担当者 | 郡司 隆男 | 曜日・時限 | 木曜・3限 |

テーマ ことばの意味のとらえかた

授業内容 日頃何げなく使っている、私たちのことばであっても、きちんと意味をわかって使っているかと考えると、実は、「意味」ということばの意味すらよくわかっていないところがあります。

この授業では、意味とは何か、と正面切って考えるのではなく、意味にまつわるさまざまな現象を日常のことばの使用の中から見つけ出し、それらを整理しつつ、一定の原則のようなものがないか、考えていくことにします。

「意味と運用 A」では、文の意味、単語の意味を中心に考えていきます。ここでは、日本語と英語を中心に、意味にまつわるさまざまな興味深い現象をとりあげ、そこにどのような規則性が潜んでいるのかをさぐっていきます。

「意味と運用 B」では、一つの文を越えた、文章・談話の意味を中心に考えていきます。ここでは、日本語と英語を中心に、談話の中でのことばの用法に関わるさまざまな興味深い現象をとりあげ、そこにも一定の規則性が潜んでいることを明らかにしていきます。

授業計画 教科書に沿って、プリント、板書によって補いながら、解説し、教科書の練習問題を説きながら進めていきます。人の話を鵜呑みにするのではなく、自分の頭で考える力をつけることを目指します。

以下は大体の日程。前期のみ、後期のみをとっても完結するように授業を進めていきます。

| | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 4月12日 クラスの方針の説明 | 9月27日～10月4日 第4章 状況・文脈・認知と意味 |
| 4月19日 やさしい意味論 | 10月11日～10月25日 第5章 発話とコミュニケーション |
| 4月26日～5月17日 第1章 意味への接近 | 11月1日～11月22日 第6章 世界の認識と意味 |
| 5月24日～6月14日 第2章 論理と意味 | 11月22日～1月10日 第7章 意味から談話の構造へ |
| 6月21日～7月19日 第3章 自然言語の形式意味論 | 1月17日 まとめ |
| 7月26日 まとめ | |

授業方法 講義を中心とし、適宜、演習問題を解答させる。予習は必須。

評価方法 学期中に何回出す課題を全部出すことが最小の義務。さらに学期末のレポートで最終評価をします。

履修上の注意 この授業は少しずつ積み重ねて先へ進んでいくので、あまり休みが続くと、とたんにわからなくなっていくます。まめに出席することが必要です。やむを得ない理由で欠席した場合には、担当者や級友にきいて、自分で追いついておいて下さい。

教科書 金水敏・今仁生美 著『意味と文脈』(岩波書店, 2000)

参考書 野矢 茂樹 著『入門!論理学』(中央公論新社, 2006)

野矢 茂樹 著『新版 論理トレーニング』(産業図書, 2006)

郡司 隆男・西垣内 泰介 編『ことばの科学ハンドブック』(研究社, 2004)

池上 嘉彦 著『英語の感覚・日本語の感覚 - “ことばの意味”のしくみ』(日本放送出版協会, 2006)